

川村美葉先生のお薦め本

『国宝』 吉田修一

昨年度話題になった「国宝」はみなさんの中にも観たことがある人がいるのではないのでしょうか？

私も映画にとっても引き込まれ、「もっとこの物語を知りたい！」と思い、その後国宝の原作小説を読みました。

この作品は、歌舞伎の世界を舞台に、才能と努力、友情や嫉妬など、さまざまな感情を抱えながら生きる主人公たちの人生が描かれています。小説では登場人物の気持ちや葛藤がより細かく描かれていて、映画とはまた違った魅力があります。

原作を読んだ後に映画を観ると、新しい発見もたくさんありました。

映画を観た人も、まだ観ていない人も、ぜひ手に取って見てほしい作品です！



『重カピエロ』

2003年に発売されたこの本がなぜか現在爆発的に売れ
売り上げは10倍にもなり、多くの書店で売り切れとなっ
ています。なぜかという、5月24日の競馬（GI）オークス
でJRA女性騎手初のクラシック制覇した

今村聖奈騎手が乗って優勝した馬の名が

「ジュウリョクピエロ」だからです！

『重カピエロ』は映画化もされた人気小説で、図書館にあり
ます。どんな作品か、一度読んでみてください。

■ 図書館のおすすめ本 ■

『本なら売るほど (1)~(3)』 児島青

「マンガ大賞 2026」を受賞した作品です。

舞台は「十月堂」という古本屋。主人公はよく行く古本屋
のオヤジさんが「のんきそうでいいな」と思ったのがきっか
けでサラリーマンから古本屋へと転身。

「十月堂」にやってくるさまざまな人々の姿を描く短編集
です。

古本屋の物語だけあって、出てくる本の話もおもしろい
ですよ！